

## 市民協働推進本部等での意見について

## (1) 市民協働推進本部での意見

1	該当箇所	全体	
		意見	考え方
	第1期計画の総括が必要ではないか		<p>第1期計画の総括については、計画書第6章「市民協働の推進のための目標・施策」に掲げる項目ごとに総括を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 情報を共有できる仕組みづくり</li> <li>2 市民意識の醸成・職員意識の改革と担い手・推進体制づくり</li> <li>3 市民がまちづくりに参加・参画しやすい仕組みづくり</li> <li>4 市民活動、地域活動がしやすい環境づくり</li> <li>5 協働を評価し、推進する仕組みづくり</li> <li>6 具体的施策の項目別年次計画</li> </ol> <p>総括の具体的内容は「参考資料」のとおり</p>
2	該当箇所	全体	
		意見	考え方
	目標指標、年次計画が必要ではないか		<p>目標指標については、三原市長期総合計画の「地域づくり活動の活性化」及び「市民協働のまちづくりの推進」に掲げている達成度を測る指標（を目標指標とします）。</p> <p>個別の年次計画については、各事業のアクションプランを作成する中で定めたいと考えています。</p>
3	該当箇所	全体	
		意見	考え方
	「取り組み」と「取組」の表記があるが、語句は統一した方がいいのではないか		「取り組み」に統一します。
4	該当箇所	P 5 計画の概要 (2) 計画の期間	
		意見	考え方
	進行管理、5年後の見直しは何をもって行うのか。		<p>市民協働推進委員会において具体的なアクションプランを検討し、市が各施策・事業を推進しPDCAサイクルによる進行管理を行いたいと考えています。</p> <p>5年後の見直しは、毎年行う検証の積みあ</p>

		げ及びアンケート調査やヒアリング調査、また、アクションプランの評価などを反映した見直しを行いたいと考えています。
--	--	--

(2) 各所属長からの意見

1	該当箇所	P 4 2 地域プラットホームの開催について	
		意見	考え方
		地域福祉の推進と類似している。関連する各種計画との整合はうたっているが高齢者福祉課と、実際に連携しているのでしょうか。	第2期市民協働のまちづくり推進計画の地域プラットフォーム（地域別意見交換会）は、町内会組織や市民活動団体が集い、団体者自らが団体の活動や、地域活動を維持していく機運を作ることや、課題の共有、自主運営のキーマンを探ること（人材発掘）などを目指し、また、両方の団体が重なる部分で新たな取り組みに進むものと考えています。高齢者福祉課と事前には連携していませんが、関連する部分があれば連携した取り組みを行いたいと考えています。
2	該当箇所	P 4 2 市民提案型協働事業について	
		意見	考え方
		協働事業の提案時には、行政には広報の周知を希望するところが多くある。しかし、補助事業が採択されたあと、実際に協働できているのか疑問。過去の保健福祉課については、殆どなかったと思う。また、事業実施後に市にメリットがあったか効果もみえにくい。そのあたり改善できないでしょうか。	提案型協働事業の実施計画を作成する段階では、担当課との情報共有、理解、役割分担等ができているが、事業実施段階では提案団体が主導して行い、担当課の事業への関わりが薄い傾向があります。 成果については、提案団体及び担当課ともに単独で実施することが難しい面をお互いの強みを生かすことで事業を効果的に実施できたと考えています。また、事業に対する直接的な効果だけでなく、協働事業を実施することで市民や職員の協働のまちづくりの意識向上に繋がったり、お互いに学びあうことなどの効果が見られていると考えています。今後の課題として、提案型協働事業として実施すべき事業かどうかの精査や、市からの負担金が終了した後の活動のあり方について第2期計画を進める中で検討します。
3	該当箇所	P 4 2 市民提案型協働事業について	
		意見	考え方

	住民自治組織と市民活動団体が集う場の開催はありますか？あるといいのではないのでしょうか。特別枠の支援につながるのではないのでしょうか。	第2期三原市市民協働のまちづくり推進計画では、地域プラットフォームとまちづくりプラットフォームの事業を掲げています。この事業は、住民自治組織や市民活動団体が地域毎やテーマ別に集い、意見交換のできる「場づくり」の事業として実施する予定です。
4	該当箇所	P 2 9 地域リーダー育成塾及び、P 3 9 リーダーの育成講座について
	意見	考え方
	まちづくりの主たるテーマや育成するリーダーに期待する役割が具体的にイメージできない。地域（自治会、町内会）に存在する様々なリーダーの横につながる場づくりはありますか。	住民自治組織や市民活動団体とも、地域や団体の活性化を進めるために活動をけん引するリーダーが必要であり、リーダーとなる人のスキルアップ（事務手続き、パソコンの活用など）を図ることが必要であると考えます。第2期三原市市民協働のまちづくり推進計画では、リーダーの育成やスキルアップの講座を開催し、新たなリーダーの育成を図ることとしています。また、それらが集う「場」として、地域プラットフォームやまちづくりプラットフォームへの参加を考えています。
5	該当箇所	P 3 7 中間支援組織への支援
	意見	考え方
	中間支援組織への支援とは具体的に何か。	市の中間支援組織は「三原市ボランティア・市民活動サポートセンター」が担っています。活動としては、ボランティア活動のサポートや市民活動に関する相談の受付、他団体の情報や活動場所の提供など、コーディネート機能を活かし、市民のまちづくりへの参加・参画をサポートしています。今後、住民自治組織への支援も含め、活動がさらに深まるような団体どうしのマッチングや人材育成講座の企画・運営ができるような体制を検討していきます。